

仙台市環境審議会 第5回「仙台市地球温暖化対策推進計画」改定検討部会
議事要旨

日時：令和2年10月30日(金) 10:00~12:00

場所：仙台市役所二日町第二仮庁舎 環境局4階会議室

I 次第

1 開 会

2 議 事

(1) 仙台市地球温暖化対策推進計画答申案（素案）について

(2) その他

3 閉 会

II 出席委員数

出席 4名

議事要旨

事務局	「議事」に入る。議事進行については、「仙台市環境審議会の組織及び運営に関する規則」第5条第1項に基づき、駒井部会長にお願いする。
議長（駒井部会長）	それではまず、会議の公開と議事録の署名について確認させていただく。 会議の公開については、環境審議会の運用にならい、本部会においても、個人のプライバシーに関する事など、非公開の必要のある場合以外は、原則として会議を公開することとするかと思いたいと思うので、皆さまよろしくをお願いします。 次に議事録の署名については、こちらも環境審議会の運用にならい、部会長と出席委員1名の署名をもって、正式な議事録とするということにしたい。今回は、五十音順で、石川委員にお願いする。
石川宣子委員	了承した。
議長（駒井部会長）	それでは、議事に入る。 議事（1）仙台市地球温暖化対策推進計画答申案（素案）について、事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料1-1、1-2、1-3に基づき、説明）
議長（駒井部会長）	ただいま、事務局から仙台市地球温暖化対策推進計画中間案に関する意見募集の実施結果、寄せられた意見と意見に対する考え方（案）、それらを踏ま

	<p>え修正した答申案について説明があった。</p> <p>では、委員の皆様からご意見をいただきたい。</p> <p>まず、2030年度の中期目標について、寄せられた意見の中で目標をさらに上乘せしてはどうかという内容があった。そのような意見が出ることも理解できるが、この目標は、検討部会で十分に議論を重ねたうえで、国の目標に本市独自の施策を可能な限り上積みしてとりまとめたものであるため、原案のとおり35%でよいのではないか。</p> <p>また、市民説明会でいただいた意見だが、中間案の9ページについて、100年後に仙台市の気温は4.6℃上昇し、福岡市と同程度になるという表現はたしかにインパクトがないかもしれない。</p>
事務局	<p>発言者の趣旨は、冬場は暖くなるため良いのではないかとということであった。</p>
北川尚美委員	<p>今より暖かくなって良いのではないかと言う方は確かにいる。</p>
事務局	<p>出典元の仙台管区気象台に確認したが、産業の中でも、気温上昇による影響を最も受けるのは第1次産業であり、それに関連して2次産業、3次産業も影響を受けていくという趣旨であった。そのため、影響を受ける産業の具体例として農林水産業を文章に追加する考えである。</p>
議長（駒井部会長）	<p>他に意見はあるか。</p>
松本浩委員	<p>資料1-3の30ページについて、中段の枠囲みで環境都市像が示されているが、この「杜の都の資源が活用され、循環するまち」に関して、他のページで内容を説明しているのか。「杜の都の資源」とはどのような資源なのか本ページの近くに記載できないか。</p>
事務局	<p>この地球温暖化対策推進計画は、「杜の都環境プラン」の下部計画という位置づけになっており、指摘いただいた環境都市像というのは、「杜の都環境プラン」からの抜粋になっているが、確かに説明不足かもしれない。</p>
北川尚美委員	<p>「杜の都の資源」には人や知財も入っていたと思う。</p>
事務局	<p>活動する人、あるいは知的資源としての研究機関や教育機関等も含めて資源としている。</p>
松本浩委員	<p>それでは、「杜の都環境プラン」ではしっかりと説明されており、そこと内容がつながっているということで理解した。</p>
北川尚美委員	<p>本計画にも説明は加えた方が良いかもしれない。</p>
事務局	<p>説明を加えるという考え方もあるが、資料1-3の30ページで伝えたいことは、「杜の都環境プラン」の分野別環境施策の一つである「脱炭素都市づくり」を本計画で担っているということである。その部分が明確に分かるようなサンプルな記載にするかどうかも含め検討させていただきたい。</p>

議長（駒井部 会長）	「脱炭素都市づくり」のベースになる「杜の都の資源」は様々な要素があることがわかれば良いと思う。
松本浩委員	また、資料 1-3 の 29 ページでは、温室効果ガスの種類が 7 種類あげられているが、本計画のターゲットはこの 7 種類で間違いないか。
事務局	対象となる 7 種類の温室効果ガスは「地球温暖化対策の推進に関する法律」により定められている。
松本浩委員	承知した。
北川尚美委員	発生源の内訳がわかるグラフがあると良いのではないかと。市民からも意見があったメタンは、温室効果は二酸化炭素の 25 倍ではあるが、発生の理論を踏まえると、やはり二酸化炭素が大半を占める。
事務局	資料 1-3 の 12 ページ図 1-14 をご覧いただくと、温室効果ガス排出量の内訳に「その他の分野」があり、これにはごみの焼却に伴う二酸化炭素以外のメタン等が含まれ、その割合としては 3%で、エネルギーの使用に伴う二酸化炭素がそれ以外の 97%となっている。しかし、この図からはそこまでは読み取れないため、温室効果ガスの種類別内訳を加えるかどうか検討したい。
松本浩委員	二酸化炭素と比較した温室効果はメタンが 25 倍、パーフルオロカーボンに至っては 17,000 倍であり、数字だけ見ると膨大な量に感じてしまう。そのため、実際は二酸化炭素以外の温室効果ガスの割合は 3%だと明示されていると良い。
議長（駒井部 会長）	確かに 7 種類の温室効果ガスの割合は示した方が良い。 太陽光発電等の再生可能エネルギーの普及に関する意見について、菅首相が所信表明演説でエネルギー政策に関して触れていたが、森林などの周辺環境への配慮といった問題もある。
北川尚美委員	市民からの質問をみると、環境について理解が深い方が非常に多くいらっしゃるという印象を受けた。森林吸収量について意見されている方もいるが、例えば、二酸化炭素の吸収量は、林齢が 20 年から 30 年程の木が最も多く、老木は切って新しい木を植えた方が良いという知識も受け入れてもらえると思うので、そのような重要な情報も市民の方々にきちんと伝えていく必要があると考える。 また、プラスチックごみの問題は、今は感染症対策の面で共存しにくい部分がある。根本的な解決策としては、分解可能なバイオプラスチックで対応する以外に今は方法がないのではないかと。
議長（駒井部 会長）	今はそうかもしれない。やはり公衆衛生の話と化学物質の話はなかなか相入れない。イギリスやドイツは先進的に取り組んでいるが、日本はあまり取り組んでおらず、プラスチックトレーの廃止も進んでいない。
北川尚美委員	石炭火力発電所に関する意見について、発電により発生する温室効果ガス

	排出量が電力を使用した地域に計上されることを、この検討部会で初めて知り驚いた。
事務局	発電した地域に温室効果ガス排出量を計上すると、電力を使用した地域でも計上され、二重計上になってしまう。そのため、発電により発生する二酸化炭素は電力消費地で計上するというルールになっている。
石川宣子委員	発電所の煙等に対して健康被害や社会被害等のイメージを持っている方が多いため、仙台の火力発電所から煙が出ると、仙台圏の人が被害を受けると認識している方がまだ多くいる。
事務局	火力発電は特にそうだが、煙突から煙が出ることで健康被害も心配する方が多いと思う。煙の成分のほとんどは水蒸気だが、環境部局としては、そのような懸念に対応し、市民に安心感を持っていただくことも重要であるため、仙台港周辺では様々な環境調査やモニタリング等も強化して行っている。調査結果を常に公表しているが、今のところ、例えば石炭火力に関してはあまり数字の変動は見られない。
議長（駒井部会長）	水、大気、土壌の法律体系は地域だが、地球温暖化はグローバルなため、結果が違ってくることがある。石炭火力のリスク評価をすると、地域住民に対するリスクか、生態系に対するリスクかにより、評価方法が変わってくる。場合によっては、地域住民へのリスクはないが生態系へのリスクがあるケースが出てくるため難しい。 また、仙台市が SDGs 未来都市に指定されたのは大きかった。仙台市の他はどこが採択されているのか。
事務局	東松島市が既に指定されていたが、今年度、仙台市も追加された。SDGs の普及・啓発を進めていく必要があるため、本計画内でも具体的に実施施策がどの SDGs アイコンに当てはまるかを示しており、それらを含めて啓発を進めていく必要があると考えている。
議長（駒井部会長）	環境に対する民意が大分上がっている。
北川尚美委員	菅首相が演説で CCS を例に挙げていたが、プラントの造成で何十億と費用がかかる一方で、二酸化炭素を地中に埋めるだけでは利益にならず、経済として成り立たない。技術は完成していると思うが、経済性がないため、社会システムが変わらないと普及しない。
議長（駒井部会長）	社会的な仕掛けがないとなかなか進まない事例である。
議長（駒井部会長）	それに比べ、資料 1-2 の 46 番の意見だが、家電の買い替えは、ランニングコストの関係でなかなか良いと思う。
石川宣子委員	本検討部会に参加させていただき、市民の方々から寄せられた意見を見る

	と、色々なアイデアがあり、素晴らしいと思っている。今でも、エコな暮らしのイメージとして、より切り詰めた生活をする必要があると認識している方が多いと感じる。そうではなく、自分の生活をグレードアップしながら、社会貢献ができることを広報するのが重要だと思う。
事務局	菅首相の所信表明演説でも経済と環境の好循環を打ち出していた。おそらく国も様々なメニューを出してくると期待しているが、自治体としてもメニューを出していき、事業者にお知らせする必要があると思っている。
議長（駒井部会長）	仙台市民は真面目な方が多いと思っている。ごみの収集等を見ても、しっかりされている方が多いと思うが、厳し過ぎるという面もあり、エコでありながら楽しく過ごせる暮らし方が浸透するように、仙台市として、具体的な好事例をアピールするような政策も重要と思う。
事務局	「杜の都環境プラン」では、そのような視点に意識が変わるように、例えば環境配慮行動が快適で豊かな暮らしや企業価値との向上につながるという意識が共有される社会を目指すということにし、大きな柱として掲げている。重点プロジェクトのエコアクションプロジェクトも同様の趣旨で、無理なく真似したくなるような環境に優しい取り組みをしっかりと発信し、これまで環境配慮とっていなかったことが実は環境配慮であり、これなら実践できるという取り組みが広まり、それらを総称して「杜の都スタイル」というキャッチフレーズで訴えていきたいと思っており、それらの発信は「杜の都環境プラン」策定後に精力的にやっていきたいと思っている。
議長（駒井部会長）	冷蔵庫やエアコン等は動く限り買い替えないのが実情だと思うので、具体的な数字のコストパフォーマンス等のメリットを提示することで買い替えが進むと考える。
北川尚美委員	家電量販店に行くと、そのようなメリットが提示されている。
議長（駒井部会長）	市からもそのような広報があると、画期的だと思う。
松本浩委員	ある住宅メーカーが販売し、実際に人が住んでいる住宅の電力の使用量を調査した結果を公表しており、真夏の30日間にエアコンをつけ続けても、電気代が1カ月4,000円弱にとどまったという事例もあったようだ。その住宅の構造を少し見せてもらったが、機密性や断熱性、空気の循環等が非常にしっかりと計算された住宅で、生活の質を落とすことなく快適に暮らし、なおかつ温室効果ガスもあまり出さないということで、すべてが繋がっていると思う。そのようなメリットを提示することにより、家電の買い替えを是非進めていただきたい。
事務局	2050年実質ゼロは勿論だが、2030年度の2013年度比35%削減も非常に高い目標であると考えており、その達成に向け家庭や事業所における省エネ機

	器の更新等に積極的に取り組んでいきたい。
議長（駒井部 会長）	他に意見はあるか。
事務局	資料 1-3 の 34 ページについてだが、10 月 28 日に開催した「杜の都環境プラン」改定検討部会の議論で、国が 2050 年温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すのであれば、仙台市はその目標を前倒しして取り組むべきという趣旨の発言があった。しかし、2050 年よりも前の実現となると、目標を設定する上での根拠に欠けるため、本ページでお示しているような先進的な技術革新を率先して取り入れていくといったような表現に修正することで対応したいと考えるが如何か。
各委員	異議なし。
北川尚美委員	目標の早期達成より、確実に減らすことを実行していくことが重要である。
議長（駒井部 会長）	他に意見はあるか。 それでは、修正案をまとめると、資料 1-3 の 9 ページだが、福岡市と比較する文章を修正する。また、宮城県から意見があり調整した文言も修正し、34 ページについては、国の施策との関わりについても適切な表現に変えるということで如何か。
各委員	異議なし。
議長（駒井部 会長）	先程の答申案については、細部について追加修正の可能性があるが、それについては私に一任いただきたいと思いますと思うが、如何か。
各委員	異議なし。
議長（駒井部 会長）	それでは、他になければ議事（1）の議論はこれまでとする。 続いて、議事（2）その他だが、本日の部会を通じてのご意見、ご質問等あればお願いします。
各委員	（特になし）
議長（駒井部 会長）	それでは、議事については以上とする。 事務局から連絡事項はあるか。
事務局	今後の日程だが、次回の環境審議会は 12 月 1 日の火曜日 15 時 30 分からを予定しており、部会長とご相談の上、本日の議論の内容を反映した答申案を報告させていただく。
議長（駒井部 会長）	それでは、頂いた意見をもとに修正等を図り、12 月 1 日開催の環境審議会に諮りたいと思う。 以上、進行を事務局にお返しする。
事務局	委員の皆様には昨年 7 月、市長から諮問させていただいて以来、1 年半にわたりご多忙の中、活発なご議論をいただき感謝する。 これから、12 月 1 日開催の環境審議会にて答申案の審議をいただき、令和 3

年1月頃、環境審議会の会長から市長へ答申を提出する予定である。 改めて、部会長初め委員の皆様へ感謝するとともに、今後も環境審議会 のご審議のほど、よろしく願います。 以上で本日の部会を終了する。円滑なご議論をいただき感謝する。
--

令和 3 年 / 月 / 2 日

仙台市環境審議会「仙台市地球温暖化対策推進計画」改定検討部会 部会長

氏名 駒井 武 

仙台市環境審議会「仙台市地球温暖化対策推進計画」改定検討部会 委員

氏名 石川 宣子 